

おおかえで  
大 風



左沢小学校だより

令和3年 6月24日 NO.3

## コロナ禍の運動会を終えて

校長 建部 敦



6月5日、青空が広がり万国旗が風にはためく中で本校の運動会が行われた。例年9月に行ってきた運動会であるが、昨今の残暑の厳しさ等を考慮し梅雨入り前の1学期に行うことにしたのである。運営面ではまだ新しい生活様式を守りながらの大会であったが、子どもたちの様子から窮屈な感じを受けなかったのは「輝くみんなにエールを」というスローガンのもと、練習のときから精一杯競技と応援、係活動に取り組んできたためだろう。また、昨年度の経験も生かされたからではと思っている。

私の小学校時代の運動会は、指揮者と鼓笛隊を先頭にした入場行進からはじまったが、それだけで一大イベントだったという記憶がある。あの頃はお祭りのような出店も出ていたから、運動会は地域の方々にとっても楽しみの場だったのだろう。そんなことを思い返すと、二年連続で来校いただく人数を制限しなければならず申し訳ない気持ちになってしまう。一刻も早く制限しなくてよい状況になることを願うしかない。

ところで、コロナ禍中の運動会とはいえよい面もあると思っている。それは分散を考慮することで一人ひとりの子どもたちの姿がよく見えるようになったことだ。例えば応援合戦は今回2学年ずつの単位で行ったが、人数の少ない分子どもたちの表情が一昨年度までよりもよく見えたのではないだろうか。そしてそれは赤白対面形式の応援だったものを、昨年度から保護者席に向かって応援する形式に変えたからでもある。応援の規模は小さくなるものの、集団に個人が埋没しないというメリットがあるしシッターチャンスでもある。応援合戦を子どもたち同士で見せ合うのとお家の方々に見てもらうのとでは、どちらが子どもたちにとってよいのかという問題はある。しかしこれまでと違うスタイルを行うことで実感を伴った比較ができ、よりよい形を教職員が模索することにつながっていくのであればこれもまたよいことであろうと思う。

コンパクトで短時間の運動会だったが、一生懸命な子どもたちの姿が何よりも嬉しかった。順位ではなく自分自身の限界に挑戦する姿、アクシデントがあっても最後まであきらめずやり抜く姿はやはり美しい。輝く子どもたちにエールを送っていただいたお家の方々、そして準備後片付けをいただいたPTA保体部の皆様、誠にありがとうございました。



運動会では今年も紅白の熱戦がくりひろげられました。80mや100m走では、得意不得意にかかわらず、一人ひとり精一杯走る姿が見られました。続く団体種目や赤白対抗リレーでも両軍とも勝利を信じて思いっきり競技することができました。そして締めくくりは赤白応援合戦。どちらも甲乙つけがたかったようで、5人の審査員の集計結果はなんと同点！応援賞は両軍が勝ち取りました。運動会を通して、また一步たくましくなった子どもたちでした。



### プール開きをおこないました

6月21日(月)の朝、プール開きを行いました。児童代表と教員代表で水の事故がないようにプールサイドで安全を祈願したのち、体育館に集まった全校生に祈願報告と使用にあたって約束の確認をしました。全校生にはルールを守って元気にプールを使用してほしいと思います。



### 7月の予定

- |                         |                            |
|-------------------------|----------------------------|
| 1日(木) PTA学年部街頭指導        | 23日(金) スポーツの日              |
| 5日(月) 芸術鑑賞教室            | 28日(水) 校内水泳記録会             |
| 9日(金) 町教育委員学校訪問         | 29日(木) 1学期終業式 3校時限<br>給食なし |
| 15日(木) キャリア体験クラブ        | 30日(金) 夏季休業(～8/26迄)        |
| 21日(水) 読み語り③<br>学校保健委員会 |                            |
| 22日(木) 海の日              |                            |